

## KCOG 婦人科グループ 平成 26 年度活動報告書

### 1. 臨床試験

#### 1.1. 進行中の臨床試験・調査研究

##### ① KCOG-G1002

『子宮頸部上皮内腫瘍(CIN3)に対する円錐切除術後のヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンによる HPV 再感染予防に関する検討』

(主任研究者:三重大 田畑 務)

##### ② KCOG-G1101

『子宮頸がん Ib・IIa 期リンパ節転移症例を対象としたパクリタキセル(PTX)/ネダプラチン(NDP)による術後補助療法に関する第 II 相試験』

(主任研究者:静岡がんセンター 武隈宗孝)

##### ③ OGSK\_KCOG-G1201

『子宮頸がん Ib2 期・II 期を対象としたイリノテカン塩酸塩水和物＋ネダプラチンによる術前補助化学療法＋根治手術＋術後補助化学療法—臨床第 II 相試験—』

(主任研究者:京都府立医大 澤田守男)

##### ④ KCOG-G1303

『進行・再発子宮体癌に対する ddTC 療法(臨床第 II 相試験)』

(主任研究者:関西ろうさい病院 堀謙輔)

##### ⑤ KCOG-G1304

『Taxan 使用歴のある末梢神経障害患者に対するラフチジンとプレガバリンの randomized phase II study』

(主任研究者:東京女子医大東医療センター 長野浩明)

##### ⑥ KCOG-G1305s

『卵巣成熟奇形腫の悪性転化に対する治療法・予後についての後方視的研究』

(主任研究者:奈良県立奈良病院 杉浦 敦)

##### ⑦ KCOG-G1401

『中リスク群および高リスク群の子宮体がんに対する、術後補助療法の様式が予後に与える影響に関する多施設後方視的研究』

(主任研究者:三重大 田畑 務)

##### ⑧ KCOG-G1402

『我が国における再発上皮性卵巣がん・卵管がん・腹膜がんに対する secondary debulking surgery の現状と再々発時の治療法および予後に関する調査研究』

(主任研究者:大分大学 平川)

## 1.2. 平成 26 年度に終了した臨床試験・調査研究

### ① KCOG-G1302

『子宮体がんおよび卵巣がんにおけるリンチ症候群を中心とした遺伝性腫瘍の、遺伝性腫瘍問診票による拾い上げに関する前後方視的研究』

(主任研究者:名古屋市立大 西川隆太郎)

### ② KCOG-G1301

『婦人科悪性腫瘍に対するシスプラチンを含む化学療法時に伴う悪心・嘔吐の予防におけるアプレピタント+パロセトロン+デキサメタゾン+オランザピン四剤併用の有効性、安全性の検討(臨床第Ⅱ相試験)』

(主任研究者:静岡がんセンター 安部正和)

## 2. 平成 26 年度業績

### 2.1. 英論文原著

Takeshima N, Matoda M, Abe M, Hirashima Y, Kai K, Nasu K, Takano M, Furuya K, Sato S, Itamochi H, Tsubamoto H, Hasegawa K, Terao K, Otsuki T, Kuritani K, Ito K.

Efficacy and safety of triple therapy with aprepitant, palonosetron, and dexamethasone for preventing nausea and vomiting induced by cisplatin-based chemotherapy for gynecological cancer: KCOG-G1003 phase II trial. Support Care Cancer. 2014 Nov;22(11):2891-8.

Tsubamoto, H. Takeuchi, S. Ito, K. Miyagi, Y. Toyoda, S. Inoue, K. Kanazawa, R. Hosoda, Y. Shibahara, H.

Feasibility and efficacy of intraperitoneal docetaxel administration as salvage chemotherapy for malignant gynaecological ascites

J Obstet Gynaecol 2014, 35(1): 69-73

### 2.2. 国内学会・講演会

Itani, Y. Arakawa, A. Tsubamoto, H. Ito, K. Nishikawa, R. Inoue, K. Kita, T. Sugiura, A. Toyoda, S. Kuritani, K. Shichido-Yamamoto, S. Miyagi, Y. Furukawa, N.

Mental mood of gynecologic cancer patients assessed by distress and impact thermometer (DIT; a 2-item, self-report questionnaire) and hospital anxiety and depression scale (HADS; a 14-item, self-report questionnaire) during the initial treatment in the first 6 months: KCOG-G1103 study  
50th Annual Meeting of the American Society of Clinical Oncology Chicago, Illinois, USA  
May 30-June 3, 2014

Inoue, K. Tsubamoto, H. Ito, K. Hori, K. Ito, Y. Furukawa, N.

Intraperitoneal and intrapleural administrations of triamcinolone acetonide effective for control of malignant ascites and pleural effusion (KCOG-G1102)

15th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society Melbourne, Australia  
Nov 8-11, 2014

Nishikawa, R. Itani, Y. Arakawa, A. Tsubamoto, H. Ito, K. Inoue, K. Kita, T. Sugiura, A. Toyoda, S. Kuritani, K. Shichido-Yamamoto, S. Miyagi, Y. Furukawa, N.

Mental mood of gynecologic cancer patients assessed by DIT and HADS during the initial treatment in the first 6 months: KCOG-G1103 study

15th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society Melbourne, Australia  
Nov 8-11, 2014

### 2.3. 国内学会・講演会

水野智子、森 美奈子、牧野 弘、古井辰郎、伊藤直樹、矢野光剛、伊藤公彦、西尾真、久慈志保、荒川敦志、井谷嘉男、森重健一郎

卵巣明細胞腺癌における酸化ストレス回避機構に関する検討

第 66 回日本産科婦人科学会 東京 2104 年 4 月 18-20 日

### 3. 総会ならびに分科会開催

平成 26 年度

- 平成 26 年 5 月 9 日(金) 19-21 時 (AP 梅田大阪)  
分科会
- 平成 26 年 6 月 13 日(金) 19-21 時 (AP 梅田大阪)  
分科会
- 平成 26 年 7 月 5 日(土) 13-17 時 (ヒルトンプラザウェスト・オフィスタワー8F)  
夏季総会、特別講演会ならびに分科会  
『がん免疫治療の基礎と臨床』  
(講師:滋賀医科大学 臨床腫瘍学講座 特任講師 寺本早治 先生)  
ASCO2014 出張報告(三重大 産婦人科 本橋 卓 先生)
- 平成 26 年 9 月 5 日(金) 19-21 時 (メルパルク京都)  
分科会
- 平成 26 年 10 月 24 日(金) 19-21 時(中外製薬株式会社大阪支店会議室)  
分科会ならびに特別講演会  
『卵巣癌治療の QOL 評価 ～臨床的意義と AURELIA 試験～』  
(講師:立命館大学 生命科学部 生命医科学科 下妻晃二郎 先生)
- 平成 26 年 11 月 23 日(金) 16-19 時 (レンブラントホテル大分)  
分科会ならびに特別講演会  
『婦人科がん患者への治療と就労の両立支援』  
(講師:京都府立医科大学看護師 がん看護専門看護師 服部美景 先生  
兵庫医科大学看護師 がん看護専門看護師 西村裕美子 先生)  
『再発卵巣癌における化学療法』  
(講師:三重大学産婦人科 田畑 務 先生)
- 平成 26 年 12 月 20 日(土) 17-19 時 (ホテルグランヴィア大阪)  
分科会ならびに特別講演会  
『腹膜偽粘液腫の診断と治療 ～特に女性症例の考察～』  
(講師:国立国際医療センター 外科診療科・下部消化管外科医長 矢野秀朗 先生)

- 平成 27 年 1 月 31 日(土) 13-17 時 (ヒルトンプラザウェスト・オフィスタワー8F)  
冬季総会、特別講演ならびに分科会  
『アバスチンの存在意義について考える』  
(講師:新潟大学医歯学総合病院 呼吸器・感染症内科 三浦 理 先生)  
IGCS2014 出張報告(名市大 産婦人科 西川隆太郎 先生)
- 平成 27 年 3 月 6 日(金) 19-21 時 (O-DEC)  
分科会